

施策評価シート(平成24年度評価実施)	担当部課名	産業環境部	関連部課名	観光商工課
基本目標	賑わいと元気あふれるまちづくり【産業】			
施策名	消費者保護			
消費生活に関する情報提供や相談体制、消費者被害の救済を図るとともに、消費教育を通じた賢い消費者や消費者保護団体の育成、多重債務の予防、関係機関との連携による多重債務の救済などの取組を推進します。				
施策が目指す蒲郡市の将来の姿				
<ul style="list-style-type: none"> ●子どもから高齢者まで、誰もが安心して物を購入したりサービスを受けたりすることのできる環境が整っています。 ●消費者保護に必要な基本制度や環境が整備されています。 				

◆具体化した施策の取り組み実績

1 消費者保護体制の充実

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
消費者行政活性化基金事業	1,882千円	4,024千円	4,043千円
消費生活相談員数	1人	2人	2人
消費生活相談実施日	毎週木曜日	毎週月～木曜日	毎週月～木曜日

2 市民の消費者意識の向上

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
消費生活展の開催	平成22年7月25日	平成23年7月31日	平成24年7月29日

3 多重債務問題の解決

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
多重債務相談実施日	毎週木曜日	毎週月～金曜日	毎週月～金曜日
多重債務相談受付件数	49件	27件	-

4 消費者保護団体の支援

項目	平成22年度実績	平成23年度実績	平成24年度計画
東三河生活学校交流会	田原市	蒲郡市	新城市

◆評価指標

指標名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	将来目標
消費生活相談 市受付件数の推移	目標値			150件	200件
	実績値	100件	132件		平成32年度
					平成32年度
					平成32年度

◆指標の説明・考え方

指標名	説明・考え方
消費生活相談市受付件数の推移	消費生活相談体制の整備による受付増加及び被害者救済

◆指標の分析

県の活性化基金を活用し、消費生活相談員を1名増の2名体制とした。平成23年8月より相談日を月曜から木曜に拡大(以前は木曜日のみ)したこともあり、相談件数は増加し救済を図っている。

◆今後の方針

施策の課題	平成24年度まで県の活性化基金を活用し、内容の充実を図っているが、基金終了後の財源が問題である。
-------	--

今後の施策展開	活性化基金が活用出来る間は、内容の充実を図る。基金終了後も現状体制の維持を図りたい。
---------	--

課長評価	構成事業の進捗状況	B: おおむね計画どおり進行している。
	施策の進め方	B: 一部見直しが必要である。
	コメント	

部長評価	施策の進捗状況	B: 目指す将来像実現に向けておおむね計画どおり順調に進行している。
	コメント	施策内事業の成果は上がってはいるが、財源となっている県の基金が無くなれば財源確保が困難である。国・県等との役割分担をしながら、市としてできる事業内容の見直し求められる。

施策に属する事務事業一覧

総合 計画	所管課	番号	事業名	人件費を除く 事業費(千円)	人件費 (千円)	人工	総合 評価	事業の 種別	市長 マニフェスト	実施 計画
2-9	観光商工課 (商工)	247	消費生活啓発事業	4,678	2,649	0.43	B	カ	4	×